

4月のてがたんは雨のため中止になったので、観察会下見の記録でレポートを作成しました。次回5月の「てがたん」は5月12日(土)で「鳥の子育て」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは**5月5日(土)**です。よろしくお願いいたします。

4月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→桃山公園下の道路→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2012年4月7日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 市民スタッフ 8名(窪田憲次、玄地正八、竹本周平、弘實さと子、松村定雄、水上香苗、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(塩田いづみ、村松和行)

観察記録 - 4月下見で観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/カモ科：カルガモ、コガモ/クイナ科：オオバン、バン/ハト科：キジバト/キツツキ科：コゲラ/ツバメ科：ツバメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ツグミ科：ツグミ/シジュウカラ科：シジュウカラ/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：アオジ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【魚類】

メダカ科：メダカ

【両生類】

ヒキガエル科：ニホンヒキガエル

【昆虫・クモ】

ハチの仲間：ニホンミツバチ/チョウ・ガの仲間：アゲハ、モンシロチョウ、イラガ(まゆ)/甲虫の仲間：コガタリハムシ、クロウリハムシ/カメムシの仲間：ヨコヅナサシガメ

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、オオジシバリ、ノゲシ、オニノゲシ、ハハコグサ、ハルジオン/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/アブラナ科：オランダガラシ、ナズナ、タネツケバナ、ミチタネツケバナ、セイヨウアブラナ、セイヨウカラシナ/マメ科：カラスノエンドウ/トウダイグサ科：トウダイグサ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、トキワハゼ、ムラサキサギゴケ/ナデシコ科：コハコベ、ハコベ、オランダミミナグサ/スミレ科：タチツボスミレ/バラ科：ヘビイチゴ、ボケ(植栽)、ユキヤナギ(植栽)、ハナカイドウ(植栽)/サトイモ科：セキショウ/ユリ科：ハナニラ/ハナシノブ科：シバザクラ(植栽)/ヤナギ科：ネコヤナギ(植栽)

4月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「桜に集う鳥たち」でした。毎年、4月のてがたんの頃は桜の花が終わりかけていることが多いですが、今年は桜の開花が遅く、下見の時は蕾の状態が多くみられました。桃山公園下（左写真）で春の花やヒキガエルのオタマジャクシを観察しました。手賀沼ではコブハクチョウの卵を抱く姿がみられました。



今月の案内人 弘貴さと子さん



春はサクラをはじめ、バラ科の花が多く見られます
①ボケの花、②ハナカイドウの蕾（いずれも植栽）



田植えの準備で種もみを水に漬ける頃に咲くことからタネツケバナ（種漬花）という



トウダイグサは全体の形が油を入れた皿を置く燈台に似ていることが名前の由来



斜面林下の池で見つけたヒキガエルのオタマジャクシ



カラスノエンドウ

マメ科植物の根には根粒菌が共生しています。根粒菌は植物から光合成でつくった栄養をもらい、植物は根粒菌から生育に必要な栄養（窒素化合物）をもらいます。



4月てがたんの観察生物とルート



カラスノエンドウの根粒

根にはコブ状の根粒があり、そこに根粒菌がいます。根粒はヒトの赤血球中にあるヘモグロビンと同じ成分を含むので赤い色をしています。



休耕田一面に咲いていたタネツケバナの花



手賀沼で見つけた抱卵中のコブハクチョウ



桜とともに春の代表的な花であるスミレ（写真はタチツボスミレ）



セキショウはサトイモ科の植物で湿った場所に生える



赤い葯に黄色い花粉をつけたネコヤナギの雄花

今月の鳥 メジロ

（スズメ目メジロ科） 全長：約12cm

日本のほとんどの地域で1年を通してみられる留鳥です。

平地から山地の林に生息し、市街地の公園や庭でもよく見られる身近な鳥です。果実や花蜜が好きな鳥で、舌の先は毛状に分かれていて、花蜜を食べやすくなっています。

来館者の方から冬に葉が落ちた庭木で、メジロのカップ状の巣を見つけたというお話をよく聞くことがあります。



メジロ

メジロの分布図

分布図の色 留鳥 夏鳥 冬鳥